



セルバインド™  
背貼り製本機SB-100

取扱説明書

[ご使用になる前に必ずお読み下さい]



NICHIBAN



## 目次

はじめに	1
使用上の注意	2
各部の名称	3~4
用意するもの	5
準備	5~7
テープセット (製本テープ)	6
テープセット (契印用製本テープ)	7
使い方とポイント	8
(1)テープ送り	
(2)カット	
(3)書類セット	
(4)貼付け	
調整方法・交換方法	9
調整方法	
カッター刃・マットの交換	
こまったときに(故障と思う前に)	10~11
お手入れの仕方と保管方法	12
アフターサービス	13
仕様/ご依頼先	13
お問い合わせ先	14

### ●はじめに

- セルバインド™ 背貼り製本機 SB-100は、ステープラーで綴じた企画書や報告書の背に製本テープを簡単に速く、しかもキレイに貼り、書類をグレードアップさせます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。尚、この説明書は本体の近くに大切に保管して下さい。

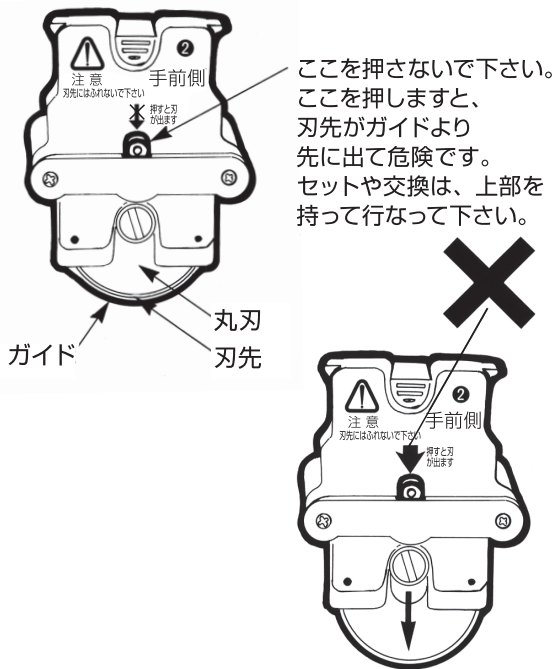
## ● 使用上の注意 安全に使っていただくため、必ずお守り下さい

## — カッターホルダーの取扱いについて —

※テープを切るために、丸刃をセットしたカッターホルダーを使います。

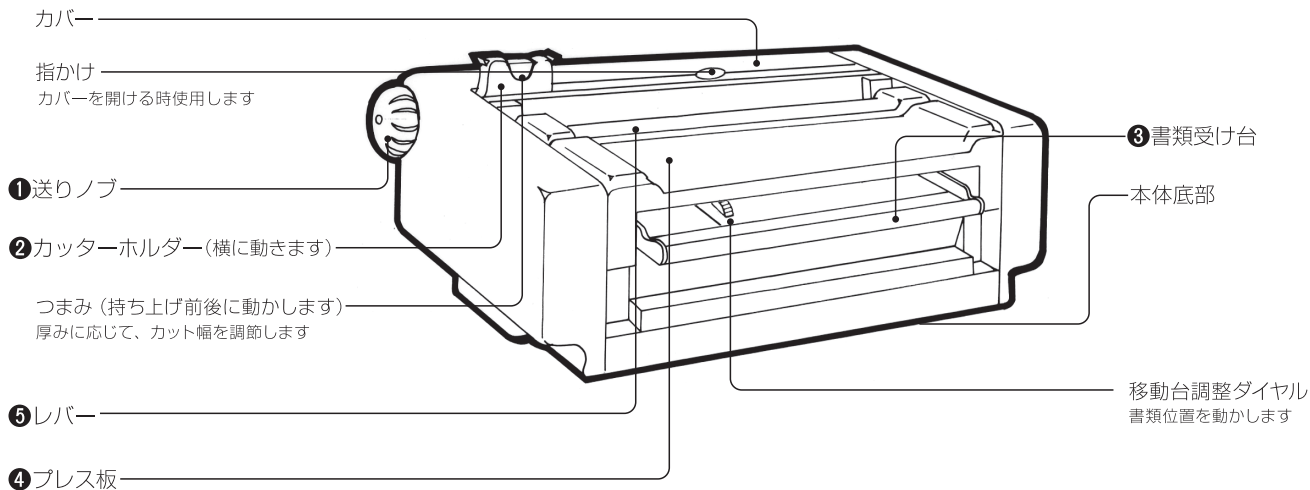
● カッターホルダーの刃先にご注意ください

→ 刃先にさわると、ケガをする場合があります

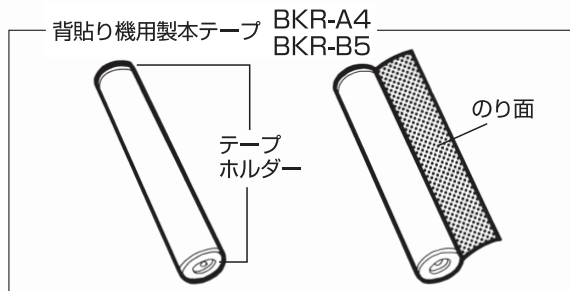


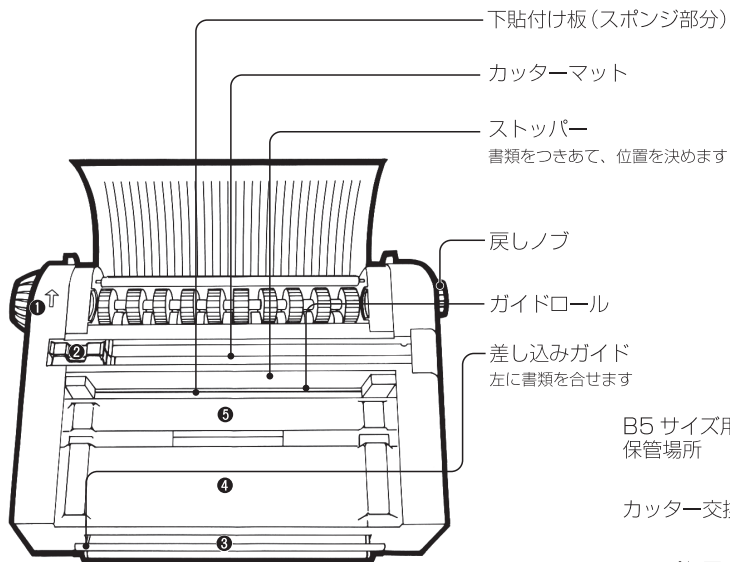
ここを押さないで下さい。  
ここを押しますと、  
刃先がガイドより  
先に出て危険です。  
セットや交換は、上部を  
持って行って下さい。

- カッター走行口や書類挿入口に手を入れないでください  
→ 稼働中に、指などはさむ場合があります
- 斜めや不安定な場所で作業しないでください  
→ 落下により壊れたり、思わぬケガをする場合があります
- 本体を落としたり、分解したりしないでください  
→ 破損や故障の原因となります
- 本体の上に物をのせたままにしないでください  
→ 故障の原因となります
- テープをセットしたまま、長時間放置しないでください  
→ 粘着性が低下する恐れがあります
- 極端に寒いところや暑いところで使用しないでください  
→ テープの接着性が低下することがありますので、室温(10℃~35℃)でご使用ください
- 本体の汚れはシンナーやベンジン等の有機溶剤で拭かないでください  
→ 故障の原因となります



付属品	カッターホルダー(取付説明書付)
	B5 サイズ用アダプター
	カバ—
	取扱説明書
	保証書





①～⑤は本体表示番号

B5 サイズ用アダプター  
保管場所

カッター交換口

テープ仮置き部  
テープセット時にテープを  
仮置きします(両側にあります)

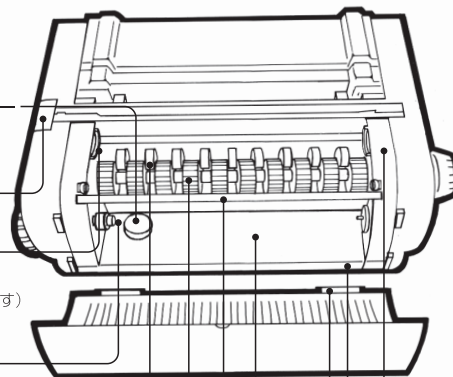
受け軸  
テープホルダーをはめ込む軸に  
なります(両側にあります)

はくりロール

送りロール

テンションロール(金属ロール)  
テープの巻きくせをとります

テープ室  
テープをセットします



ロール取りはずし部  
(ネジ固定)

カバーフック A

カバーフック B

● 用意するもの

〈テープ〉

セルバインド™ 背貼り機用製本テープ (BKR)

をご使用下さい

品名	品番	サイズ	中箱	色・種類
背貼り機用 製本テープ	BKR-A4	A4: 297mm×3.6m	5本入	黒・紺 白・緑
	BKR-B5	B5: 257mm×3.6m		黒・紺
	BKR-A4K	A4: 297mm×2.5m		契約書割印用 (白色)
	BKR-B5K	B5: 257mm×2.5m		

〈製本する書類〉

コピー用紙 (PPC用紙 55kg標準) が対象となります

3~100 枚

厚み 10 mm以下

※背貼り製本機は背貼り専用です

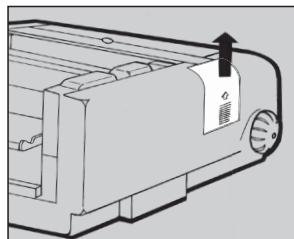
書類は予めステープラー等で2ヶ所以上綴じておいて下さい

※使用用紙の種類、枚数によって書類にしわが寄る、紙折れ等の原因となる場合があります

コピー用紙 (PPC用紙、55kg標準) より薄い紙、または柔らかい紙を使用される場合には5枚以上での製本を推奨いたします

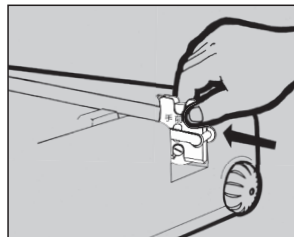
● 準備 (初めて使うとき)

カッターホルダーの装着 (カッターホルダーはダンボール内の部品箱に入っております。箱のフタを開けて、中からカッターホルダーとB5サイズ用アダプターを取り出して、下記の場所にそれぞれ、セットして下さい) カッターマットはすでに装着してあります

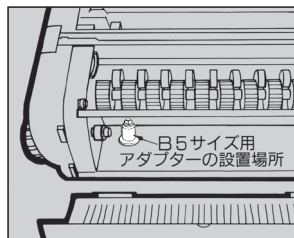


注意: カッターホルダーには刃物がついております。危ないですから、刃先には触らないで下さい

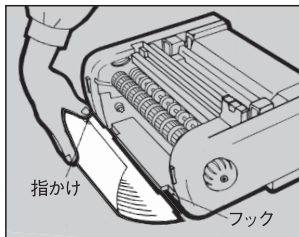
1. カッター交換口の溝の部分を指で押し、持ち上げてカバーをはずします



2. カッターを本体のレールにスライドさせて装着します (手前側を必ず確認して下さい) カッター交換口のカバーをはめ込みます

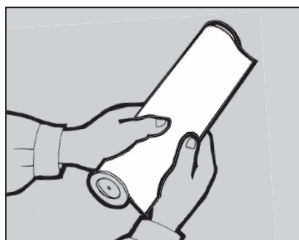


3. B5 サイズ用アダプターは、本体のカバーを開けたテープ室内部に設置場所がありますので、ご使用にならない時はセットしておきます



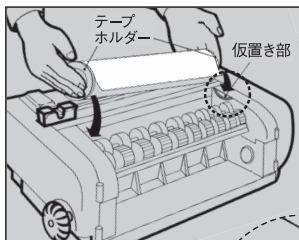
- (1)カバーを開けます  
指かけに指をかけて開けます

閉める時は、図のようにフックを合せ、カバーを持ち上げるようにして、閉めます



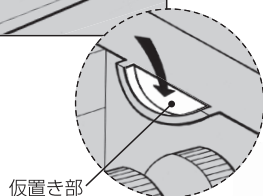
- (2)テープをはがします  
約3cm程はがします

しわが入らない様にゆっくりとはがします

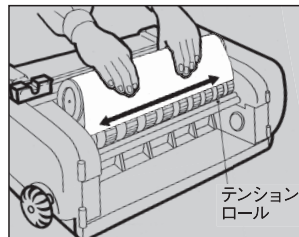


- (3)テープを仮置きします  
(一旦テープを仮置き部に置き、テープ送りをします)  
のり面を下にして、テープホルダーを仮置き部に左合せて置きます

[B5 サイズの場合は、仮置き時に付属品のアダプターをテープの右端にはめ込み、テープセットを行なって下さい]



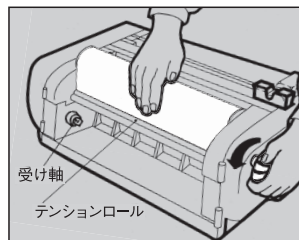
B5 サイズ用  
アダプター



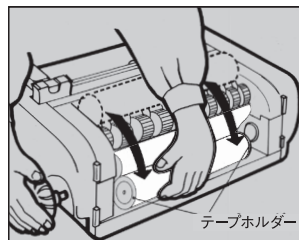
- (4)テープを貼付けます  
溝のついた送りロールにテープをしっかりと貼付けます

(テンションロール(金属ロール)には貼付けしないで下さい)

(低温時、貼付けが若干悪くなる場合があります その場合はテープを常温(10℃~35℃)にしてからお使い下さい)



- (5)テープを送ります  
左側の送りノブをすこし回し、テープがテンションロールを通過するまで送ります(約半回転)



- (6)テープをセットします  
右側の戻しノブを外側に引き、両側の受け軸にテープホルダーを合わせてセットします

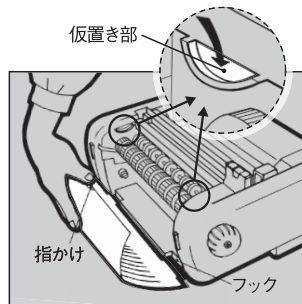
両側ともきちんと受け軸に入ったことを確認して下さい

[契約書割印用テープは、はくり紙付きですのでテープに添付の説明図を参照し、セットして下さい]

**テープ交換** 送りノブが回らなくなったらテープの終りです。テープを受け軸からはずし、新しいテープをセットします(テープは表示長さより約20cm位余分に巻いてあります) ※ノブが回らなくなってから、受け軸にセットしてあるテープを仮置き部に戻すと、あと2~3冊背貼りができます

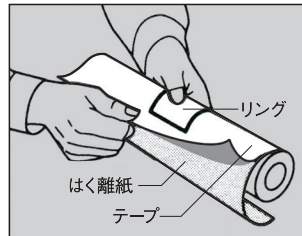


このテープははく離紙付きです。ご使用の際には、ばらけ防止リングをテープ中央位置に動かし、その後は以下のようにセットし、お使いください。  
 ※テープには、ばらけ防止リングがセットしてあり、リングの口からテープを繰り出しますので、リングは最後まで取り外さないでください。  
 (リングをはずすとテープがゆるみ、センター合せが難しくなります)



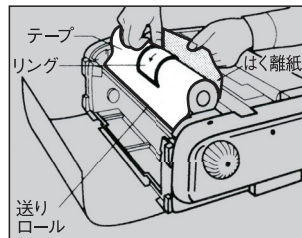
- (1)カバーを開けます  
 指かけに指をかけて開けます

閉める時は、図のようにフックを合せ、カバーを持ち上げるようにして、閉めます



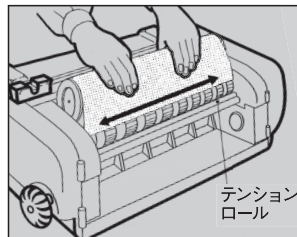
- (2)テープをはがします

ばらけ防止リングの口から、テープを約10cmほど引き出し、テープをはく離紙から剥がします。

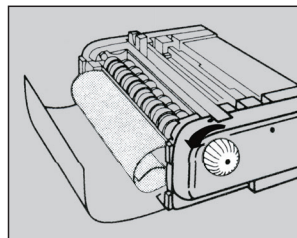


- (3)テープを仮置きします

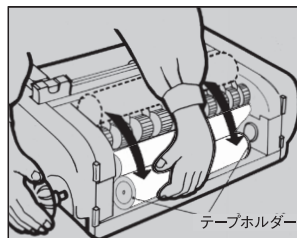
(仮置き部にテープを置きます) リングの口から出たはく離紙を図のようにテープ本体の後ろにまわし、仮置き部に置きます。



- (4)テープを貼付けます  
 溝のついた送りロールに、**テープのみ**を貼付けます  
 (テンションロール(金属ロール)には貼付けしないで下さい)  
 (低温時、貼付けが若干悪くなる場合があります その場合はテープを常温(10℃~35℃)にしてからお使い下さい)



- (5)テープを送ります  
 左側の送りノブを前方矢印方向にすこし回し、テープがテンションロールを通過するまで送ります(約半回転)

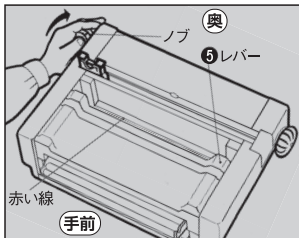


- (6)テープをセットします  
 右側の戻しノブを外側に引き、両側の受け軸にテープホルダーを合わせてセットします  
 (両側ともきちんと受け軸に入ったことを確認して下さい)

本体のカバーは開けたままご使用いただき、はく離紙が多くなったらカットしてください。

**テープ交換** 送りノブが回らなくなったらテープの終りです。テープを受け軸からはずし、新しいテープをセットします(テープは表示長さより約20cm位余分に巻いてあります) ※ノブが回らなくなったら、受け軸にセットしてあるテープを仮置き部に戻すと、あと2~3冊背貼りができます

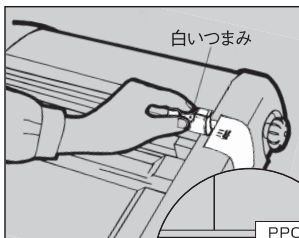
●使用しないときは、ばらけ防止リングを持ちながらテープ本体を回し、はく離紙ごと巻き戻してください。(テープよりはく離紙を約10cm程多く残しておいてください)



### (1) テープ送り

送りノブを回し、テープを赤い線のところまで送ります

レバー⑤が前に出た状態では赤い線が見えません  
その場合はレバーを手前に引き戻してから行って下さい



(例)書類が21~70枚の時

PPC用紙  
71~100枚  
21~70枚  
3~20枚

●**カット幅調節** 書類の厚みに応じてテープのカット幅を変えます

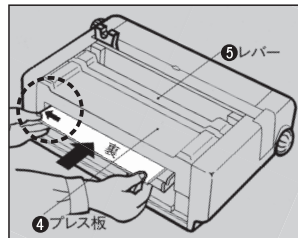
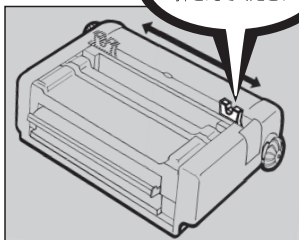
カッターを右端に寄せ、白いつまみを持ち上げながら前後に動かしてカッターの中央線と合せます 厚みの目安は下表の通りです

コピー用紙枚数	背の厚み	カット幅
3~20枚	~2mm	30mm
21~70枚	~7mm	35mm
71~100枚	~10mm	40mm

書類の表側に出てくるテープ幅は15mm一定です

### (2) カット

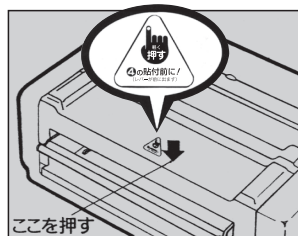
カッターを端から端まで動かします  
(どちらからでも切れます)



### (3) 書類セット

表紙を下に向け、つきあたりまで差し込み、左に合せます

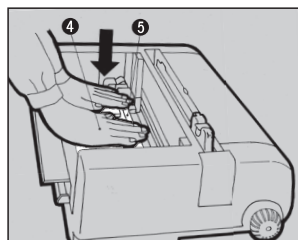
書類の大きさは、幅297mm、厚み10mmまでです



### (4) 貼付け

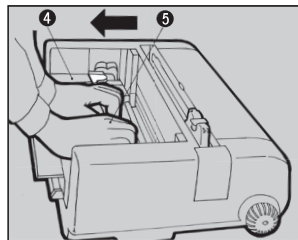
1. プレス板④を片手で軽く押し、レバー⑤を前の板に当てます

用紙の浮き、位置ずれ防止のため書類を再度セットしてください



2. 両手のひらで**プレス板④の中央を一番下まで垂直に押し**下げます

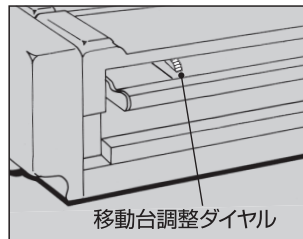
必ず下まで押し下げてください



3. **押し下げたまま、指先でレバー⑤を手前に引きます**  
レバー⑤を完全に引いたら、手を離します(プレス板④が自然に元の位置まで戻ります)

### (5) 書類を取り出します

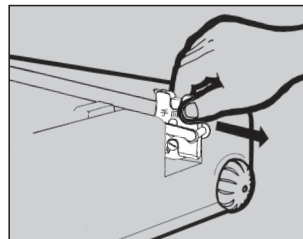
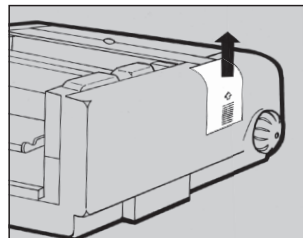
テープズレの調整方法



テープがズレて貼られた場合「移動台調整ダイヤル」を回し、移動台を左右に動かし調整します。

(ダイヤルを上に戻すと移動台は右に動き、ダイヤルを下に戻すと移動台は左に動きます。)

カッター刃・マットの交換

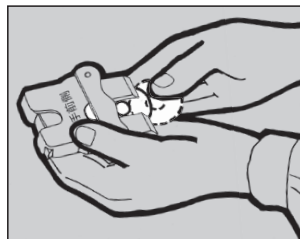


注意：カッターホルダーには刃物がついております。危ないですから、刃先には触らないで下さい

(1) 本体右側にあるカッター交換口の溝の部分指で押し、持ち上げて、カバーをはずします

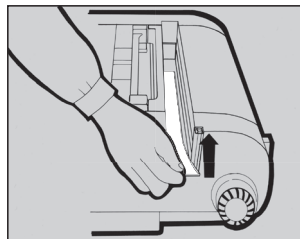
(2) カッターを右側にすべらせて取り出します

カッター刃・マットの交換



(3) 硬貨などでネジを取りはずし刃を交換します  
カッターホルダーを装着します  
(手前側を必ず確認して下さい)

刃は通常の使用方法で約2000回の使用が可能です



(4) マットをはずし、新しいマットをはめ込みます  
カッターを戻し、交換口のカバーをはめ込みます

カッターマットは左右、表裏を入れ換えて、4ヶ所使用できます

カッターマットは通常の使用方法で1ヶ所約500回の使用が可能です

カッターマットの溝が深くなってきたら交換時期です

修理にお出しになる前にもう一度点検してみましょう。

ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社のお客様相談室にお問い合わせ下さい。

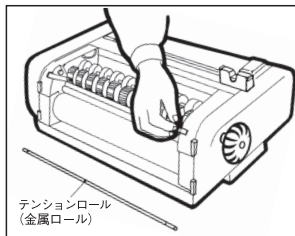
作業	現象	原因・方法	参照ページ
「テープセットをしていたら…」	①テープが送られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 送りロールにテープが貼付いていますか？⇒送りノブが空回りするようであれば、もう一度テープを送りロールにしっかりと張付け、ノブを回しテープを送り込んで下さい。</li> <li>● 寒いところにテープをおいてませんか？⇒低温時テープの接着性が低下します。常温（10℃～35℃）にしてからご使用下さい。</li> </ul>	6
「テープ送りをしていたら…」	①送りノブが回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テープが終わりました。 ⇒新しいテープと交換して下さい。</li> <li>● テープがロール内部でからまってしまった場合⇒テープを受け軸からはずし、からまった部分のテープを切り取ってセットしなおして下さい。 ⇒からまったテープが送りロール内部に残ったときは、送りロールをはずし（P11 参照）、内部のテープを取りのぞいて下さい。</li> </ul>	6・11
	②テープが部分的に折れた	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カッターが端に寄っていないと、テープを送り出す時に引っかかります ⇒確認して下さい。</li> <li>● 折れたが、送り出された場合 折れた部分をカッターでカットし、書類受け台を下げた書類挿入部より手を入れ、テープを取り出して下さい。</li> <li>● 引っかかってガイドロールまで出てこない場合⇒テープを一度、受け軸からはずし、折れた部分を切り取って、セットしなおして下さい。</li> </ul>	6・7
	③テープが引っかかって送り出せない	⇒テープを取り出してもう一度セットして下さい。（この時、テープが波打ったり、しわが寄ってしまった場合は、その部分を切り取って下さい）	7
	④テープがななめに送り出されてきた	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テープホルダーが受け軸にきちんと入っていますか？ ⇒確認して下さい。</li> <li>● テープがななめに切られている場合⇒ななめの部分をカッターでカットし、書類受け台を下げた書類挿入部より手を入れ、テープを取り出して下さい。</li> </ul>	7
	⑤テープがちぎれて出てきた	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ちぎれた部分をカッターでカットして書類挿入部より取り出して下さい。</li> <li>⇒また、送りロール内部にテープが残った場合は、送りロールをはずし（P11 参照）、テープを取りのぞいて下さい。</li> </ul>	7・11

作業	現象	原因・方法	参照ページ
「カット幅を調節していたら…」	①カッター部分が前後に動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●つまみを持ち上げていますか?→つまみをしっかりと持ち上げてカッター部ごと前後に動かして下さい。</li> <li>●カッターの位置は?→必ず左端か右端にカッターを寄せて調節して下さい。</li> </ul>	7
「カットをしていたら…」	①テープがうまく切れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カッターマットはセットしてありますか?→確認してください。</li> <li>●カッターマットの消耗です。→確認して下さい。(カッターマットの溝が深くなってきたら交換時期です。)</li> <li>●刃の切れ味が悪くなりました。→新しい刃と交換して下さい。</li> </ul>	7・8
「貼付けようと思ったら…」	①プレス板が下がらない	●レバーを押さえていませんか?→レバーはプレス板を軽く押すと前に出て、プレス板と一緒に下がりますので、押し下げの時にはレバーを押さえないで下さい。(レバーを押さえたまま無理に押し下げると故障の原因となります)	7
	②レバーが引けない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープをカットしましたか?→カットしていない場合は、カッターを横に動かしてカットして下さい。カットすれば、書類は取り出すことが出来ます。</li> <li>●プレス板は完全に下がっていますか?→プレス板を真下にしっかり押し下げ、押し下げたままレバーを手前に引いて下さい。</li> </ul>	7
	③プレス板が上がってこない	●レバーを手前に引きましたか?レバーを手前まで引くことでプレス板は自然に上がってきます。プレス板を押し下げたまま指先でレバーを手前に引いて下さい。	7
「テープ送りしていたら…」	①テープが左右にズレて出てきた	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープセット時の仮置きできちんと左合わせを行いましたか?→セットしたテープを取り出してもう一度仮置き部で左に合わせるようにしてセットを行なって下さい。</li> <li>●ズレが直らない場合は、本体③書類受け台に「移動板調整ダイヤル」がありますので、書類の位置を動かし、テープの左端と合わせて下さい。</li> </ul>	6・8
「貼り付けたら…」	①用紙にしわが寄る、紙折れがした	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類の用紙が薄い、柔らかい場合には、5枚以上で使用して下さい。</li> <li>●用紙の浮き、位置ずれを再度直して下さい。</li> </ul>	5・7

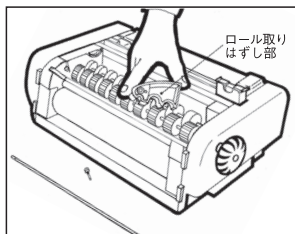
●お手入れの仕方と保管方法

- 本体の汚れは、乾いた布やOA機器用クリーナーで拭き取って下さい。  
(シンナーやベンジン等の有機溶剤は使わないで下さい  
本体の故障の原因になります)
- 使用しない時は、本体に専用ビニールカバーをかけておいて下さい。
- 直射日光のあたる場所や温度の高いところ、湿気やホコリの多い場所での保管はさけて下さい。
- 付属のB5サイズ用アダプターは、本体テープ室内部に保管場所がありますので、なくさないようにセットしておきます。

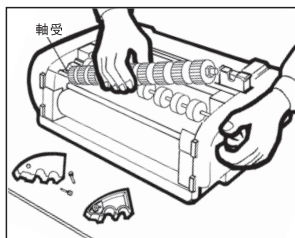
- 送りロール部にテープが残ってしまったり、ゴミなどが入った場合は、下図のように送りロール、はくりロールをはずし内部をきれいにして下さい。



①テンションロールをはずし、



②ネジを回し、両側のロール取りはずし部をはずします



③送りノブを回し、軸受から送りロール、はくりロールの順にはずします

●アフターサービスについて

- 本体は、取扱説明書に従った正常な使用状態で保証書に記載した保証期間内に故障した場合には、保証規定に基づいて無料で修理いたします。
- 保証期間経過後の修理については、有料で修理いたします。
- なお、保証期間はご購入後 1 年間です。
- 保証書はダンボール外側に添付されております。

●保証規定

次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。

- (イ) 保証書のご提示がない場合
- (ロ) 保証書の所定事項の記入がない場合、  
あるいは字句を書き換えられた場合
- (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による  
故障及び損傷
- (ニ) 取扱説明書に記載した消耗部品及び付属品の消耗、  
故障又は損傷
- (ホ) お買い上げ後の輸送・落下等による故障及び損傷
- (ヘ) 火災・地震・風水害その他天災地変による故障及び損傷

※セルバインド™はニチバン株式会社の商標です。

〈仕様〉

●本体

品名	品番	本体寸法
背貼り製本機	SB-100	H152×W450×D323 (mm)

入目・梱	重量	方式	背貼り可能枚数	作業工程
1台	6.5Kg	手動式	コピー用紙 3~100枚	5工程

●テープ

品名	品番	サイズ	中箱	色・種類
背貼り機用 製本テープ	BKR-A4	A4:297mm×3.6m	5本入	黒・紺 白・緑
	BKR-B5	B5:257mm×3.6m		黒・紺
	BKR-A4K	A4:297mm×2.5m		契約書割印用 (白色)
	BKR-B5K	B5:257mm×2.5m		

●消耗品

品名	品番	サイズ	入目・箱
背貼り機用 カッター刃	SB-CUT	45mmφ丸刃	20コ
背貼り機用 カッターマット	SB-MAT	18mm×377mm	20コ

—ご依頼先—

修理及び消耗品は、本体ご購入店及びお近くの文具店にご依頼下さい。特に、消耗品につきましては店頭にて品切れの場合がございますので、予め余裕をもって、本体ご購入店及びお近くの文具店にご注文下さい。

## お問い合わせ先

- 製品に関するお問い合わせ

ニチバン株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル

**0120-377218**

※回答に正確を期すため、お電話はすべて録音させていただいております。

お問い合わせの際は、番号をよくお確かめの上おかけください。

【お電話の受付時間】 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日・年末年始・夏期休業期間を除く）

※受付時間について、年末・年始の期間中は変更になる場合がございます。



# ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口2-3-3

お客様相談室 フリーダイヤル **0120-377218**

